

Advanced Bioscience Seminar

アドバンス生命理学特論



日時：2023年12月25日（月）16:00～17:30

場所：理学部 G 館 G101

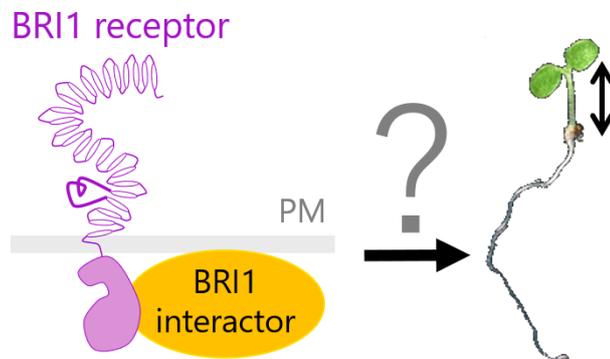
藤田 智史 博士

CNRS / University of Toulouse 3 (フランス)

パーマネント研究員 (CR)

新規 BRI1 相互作用因子による植物成長制御

細胞は周囲の環境を感知したり、周りの細胞とコミュニケーションをしたりするために多数のセンサーを発達させている。植物においては受容体キナーゼがそのなかでも大きな役割を担うが、その下流および受容体自身の調節機構に関してはいまだに不明な点が多い。そこで我々のチームではブラシノステロイド受容体である BRI1 をモデルにして受容体シグナルが如何に制御されているか、特に細胞表層の調節に注目してその解明を目指している。最近、我々は新規の BRI1 相互作用タンパク質を同定した。本セミナーではその分子がブラシノステロイド情報伝達に果たす役割に関して議論する。



連絡先：細胞時空間統御研究室 小田 祥久 (oda.yoshihisa.w5@f.mail.nagoya-u.ac.jp)